

年間授業計画 様式例

神代 高等学校 今年度（1 学年用） 教科 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（『高等学校 精選現代の国語』（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし他者との関わりの中で伝え合う力を高

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	・『「本当の自分」幻想』 ・『水の東西』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。	・『「本当の自分」幻想』 ・『水の東西』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。	・『無彩色の色』 ・『ものとことば』	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方工夫する。	・『無彩色の色』 ・『ものとことば』	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。	・『「文化」としての科学』 ・『現代の「世論操作」』	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・三つのまとまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	・『フェアな競争』 ・『生と死が創るもの』	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。	・『不均等な時間』 ・『デザインの本意』 ・『「私作り」とプライバシー』	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	4
	・文章を分析的に読み、事実から情報を抽出し、意見を形成していく論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	・『不均等な時間』 ・『デザインの本意』 ・『「私作り」とプライバシー』	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		合計
				○	○		1

							70

神代 高等学校 今年度（1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（『高等学校 言語文化』（数研出版））

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	・歴史的仮名遣い ・動詞文法 ・『宇治拾遺物語』『児のそら寝』	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	・形容詞・形容動詞 ・係助詞 ・『伊勢物語』『筒井筒』 ・漢文「矛盾」	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現を基に捉えることができる。	・助動詞 ・『枕草子』 ・再読文字 ・漢文「朝三暮四」	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	・助動詞 ・助詞 ・『平家物語』『木曾の最後』	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・助動詞 ・格助詞 ・『羅生門』 ・『徒然草』 ・漢詩	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

年間授業計画

神代

高等学校

今年度

(1学年用)

1

学年

教科:

地理歴史

科目:

歴史総合

教科: 地理歴史

科目: 歴史総合

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 8 組

使用教科書: 『 現代の歴史総合 』 (山川出版)

地理歴史 の目標:

【知識及び技能】 近現代の日本及び世界における地域的特色や日本と世界の結びつきを理解する。調査や諸資料から、背景や文化の特色を適切かつ効果的に読み取り、まとめる。

【思考力、判断力、表現力等】 近現代の日本及び世界の地理的・歴史的事象について、その特色や相互に関連する意義・概念・文化等を考察し、それをもとに議論・表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 近現代の日本及び世界の歴史について、多面的・多角的な考察から得られた知識を現代の諸課題に結び付け、主体的に解決しようとする。

歴史総合 の目標: 近現代の日本及び世界

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代における日本及び世界の歴史について、広い視野を持って諸資料から歴史的背景や文化の特色等を適切かつ効果的に読み取り、まとめる。	近現代における日本及び世界の歴史について、その特色や相互に関連する事象を考察し、それをもとに議論・表現する。	近現代における日本及び世界の歴史について、多面的・多角的な考察から得られた知識を現代の諸課題に結び付け、主体的に解決しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	時数
1 学 期	＜近現代までの世界及び日本＞ ヨーロッパの海外進出と東アジアの貿易・江戸時代の日本の対外政策を理解させる。	▽17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ▽東アジア諸国間の貿易 ▽江戸時代の日本の対外政策	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	＜市民革命と国民国家の形成＞ 市民革命と産業革命から近代国民国家が形成された過程を理解させる。	▽産業革命と独立革命 ▽ウィーン体制 ▽世界市場の形成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考查		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
	＜アジアの変容と日本の近代化＞ ヨーロッパのアジア進出と日本の近代化について理解させる。	▽アヘン戦争の衝撃 ▽開国と明治維新 ▽新政府の樹立と諸改革	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	＜帝国主義の時代＞ 欧米諸国を中心とする帝国主義の拡大とそこから発生した独立運動を理解させる。	▽帝国主義と世界分割 ▽帝国主義期の欧米社会 ▽条約改正交渉と日清・日露戦争	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考查		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
2 学 期	＜第一次世界大戦と大衆社会＞ 国際秩序を変貌させた第一次世界大戦と日本国内における大衆社会の形成を理解させる。	▽第一次世界大戦 ▽ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ▽政党内閣の時代	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	＜経済危機と第二次世界大戦＞ 世界恐慌の発生とファシズムの台頭、第二次世界大戦までの過程を理解させる。	▽世界恐慌とファシズム ▽第二次世界大戦と太平洋戦争 ▽国際連合と戦後世界	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考查		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
	＜冷戦と第三世界＞ 東西の冷戦と脱植民地化、日本の高度経済成長までの流れを理解させる。	▽冷戦対立の推移 ▽植民地の独立と第三世界の出現 ▽日本の国際社会復帰と高度経済成長	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	＜多極化する世界＞ 石油危機を中心とする世界経済の動きと冷戦の終結までの過程を理解させる。	▽石油危機と世界経済 ▽緊張緩和から冷戦の終結 ▽日本の経済大国化	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考查		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
3 学 期	＜グローバル化と現代世界＞ ベルリンの壁崩壊から冷戦後の新秩序の流れを理解させる。	▽冷戦体制の終結 ▽地域紛争と世界経済	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	＜現代な諸課題の形成と展望＞ 9.11同時多発テロと地域世界の変動について理解させる。	▽9.11同時多発テロと対テロ戦争 ▽グローバル化のもたらす課題・影響	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考查		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1

合計

70

年間授業計画 様式例

神代 高等学校 今年度（1 学年用） 教科

教 科： 数学

科 目： 数学 I

単位数： 3 単位

科目 数学 I

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ N E X T 数学 I

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理する技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係を着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式の計算 多項式の加法・減法・乗法、因数分解についての理解を深める。	・指導事項 多項式の加法・減法・乗法、因数分解 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 式の計算の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 式の計算についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の計算の内容を理解しようとしている。	○	○	○	11
	実数 実数、根号を含む式の計算、2重根号についての理解を深める。	・指導事項 実数、根号を含む式の計算、2重根号 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 実数の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 実数についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実数の内容を理解しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	集合と命題 集合、命題と条件、命題と証明についての理解を深める。	・指導事項 集合、命題と条件、命題と証明 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 集合と命題の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 集合と命題についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合と命題の内容を理解しようとしている。	○	○	○	6
	2次関数とグラフ 関数とグラフ、2次関数のグラフ、グラフの平行移動・対称移動についての理解を深める。	・指導事項 関数とグラフ、2次関数のグラフ、グラフの平行移動・対称移動 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 2次関数とグラフの内容を理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数とグラフについての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数とグラフの内容を理解しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2次関数の値の変化 2次関数の最大・最小、2次関数の決定についての理解を深める。	・指導事項 2次関数の最大・最小、2次関数の決定 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 2次関数の値の変化の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数の値の変化についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数の値の変化の内容を理解しようとしている。	○	○	○	12
	2次方程式と2次不等式 2次方程式、2次関数のグラフとx軸との位置関係、2次不等式についての理解を深める。	・指導事項 2次方程式、2次関数のグラフとx軸との位置関係、2次不等式 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 2次方程式と2次不等式の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 2次方程式と2次不等式についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次方程式と2次不等式の内容を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	三角比 三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張についての理解を深める。	・指導事項 三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 三角比の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 三角比についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の内容を理解しようとしている。	○	○	○	12
	三角形への応用 正弦定理、余弦定理、正弦定理と余弦定理の活用、三角形の面積についての理解を深める。	・指導事項 正弦定理、余弦定理、正弦定理と余弦定理の活用、三角形の面積 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 三角形への応用の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 三角形への応用についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形への応用を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	データの分析 データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数、分散と標準偏差、2つの変量の間の関係、データの分析を活用した問題解決、仮設検定の考え方についての理解を深める。	・指導事項 データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数、分散と標準偏差、2つの変量の間の関係、データの分析を活用した問題解決、仮設検定の考え方 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 データの分析を理解している。 【思考・判断・表現】 データの分析についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの分析の内容を理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 105

神代 高等学校 今年度（1 学年用） 教科 科目 数学 A

教 科： 数学 科 目： 数学 A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ N E X T 数学 A ）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理する技能を身につけようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	学びに向かう力、人間性等、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	場合の数 集合の要素の個数、場合の数、 順列、組合せについての理解を深める	・指導事項 集合の要素の個数、場合の数、 順列、組合せ ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 場合の数の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 場合の数についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 場合の数の内容を理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	確率 事象と確率、確率の基本定理、 独立な試行と確率、条件付き確率 についての理解を深める。	・指導事項 事象と確率、確率の基本定理、 独立な試行と確率、条件付き確率 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 確率の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 確率についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率の内容を理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2 学 期	平面図形 三角形の角の二等分線と辺の比、三角形の外心・内心・重心、チェバの定理・メネラウスの定理についての理解を深める。	・指導事項 三角形の角の二等分線と辺の比、三角形の外心・内心・重心、チェバの定理・メネラウスの定理 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 平面図形の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 平面図形についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面図形の内容を理解しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	平面図形 円に内接する四角形、円と直線、方べきの定理、2つの円についての理解を深める。	・指導事項 円に内接する四角形、円と直線、方べきの定理、2つの円 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 平面図形の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 平面図形についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面図形の内容を理解しようとしている。	○	○	○	12
	空間図形 直線と平面、多面体についての理解を深める。	・指導事項 直線と平面、多面体 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 空間図形の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 空間図形についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間図形の内容を理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
3 学 期	数学と人間の活動 約数と倍数、素数と素因数分解、最大公約数・最小公倍数、整数の割り算、ユークリッドの互除法、1次不定方程式についての理解を深める。	・指導事項 約数と倍数、素数と素因数分解、最大公約数・最小公倍数、整数の割り算、ユークリッドの互除法、1次不定方程式についての理解を深める。 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 数学と人間の活動の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 数学と人間の活動についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学と人間の活動の内容を理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

神代 高等学校 今年度（1 学年用） 教科 理科 科目 生物基礎
教 科： 理科 科 目： 生物基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
使用教科書：（ 高等学校 改訂 生物基礎（第一学習社） ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な探究のための観察・実験に関する技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】科学的に探究する力を身につける
【学びに向かう力、人間性等】科学的に探究する態度を身につける

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、観察・実験などの探究的な活動を通して、生物学的な探究の過程と科学の方法を習得する。	探究活動を行うことによって、生命現象にみられる因果関係を探究・説明する力を身につける。	探究活動を行うことによって、身近な自然や生物に対して興味と関心をもち、探究することの楽しさや喜びを味わうことができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の多様性と共通性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 細胞の構造から、多様性と共通性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分もヒトという生物であり、多様性と共通性にあてはまることに高い関心をもつ。	・「進化」という現象から生物の多様性を、細胞の構造をはじめとして共通性を理解させる。 ・すべての生物が行う「代謝」について理解させる。 ・顕微鏡を用いた観察実験を行い、細胞の構造から共通性および生物種ごとの多様性について考察させる。 ・自らの細胞の一部がどのようにできたかについて主体的に学ばせる。	【知識・技能】 生物の多様性・共通性について正しく理解し、問に答えることができる。 【思考・判断・表現】 観察実験において、正しく観察を行い、知識を活かして考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らのからだ細胞ができていて意識し、その構造の由来について関心をもってまとめることができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 DNAの構造を理解し、塩基配列に遺伝情報が示されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの構造および塩基配列の規則性から、表される遺伝情報について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らのからだや酵素がタンパク質でできていることを理解し、DNAとタンパク質の関係性について高い関心をもつ。	・DNAが二重らせん構造をとり、ヌクレオチドの結合に規則性があることを理解させる。 ・DNA塩基配列の規則性に基づき、塩基配列と遺伝情報について考察させる。 ・自らのからだタンパク質でできていることを理解し、遺伝情報によってその性質が決められていることについて主体的に学ばせる。	【知識・技能】 DNAの構造、遺伝情報の発現の仕組みについて正しく理解し、問に答えることができる。 【思考・判断・表現】 DNA塩基配列の規則性に関する知識を活かして、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らのからだタンパク質でできていることを意識し、遺伝情報によってその構造が決められていることに関心をもってまとめることができる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 生物の体内環境 【知識及び技能】 生物は、体内の状態を安定に保ち生命を維持する恒常性に基づいて活動していることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 血糖濃度とインスリンのグラフを通して、恒常性を維持するしくみについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らのからだの血液や神経を意識し、その仕組みについて高い関心をもつ。	・恒常性を維持するしくみとしての神経・体液・免疫について理解させる。 ・血糖濃度とインスリンのグラフを読み取り、血糖濃度を調節するしくみについて考察させる。 ・自らの脈拍を測定し、血液が循環する頻度やおよその体積を計算することで、自らのからだを意識して主体的に学ばせる。 ・神経やホルモンおよび免疫の働きについて理解させる。	【知識・技能】 生物が、恒常性に基づいて生命活動していることを正しく理解し、問に答えることができる。 【思考・判断・表現】 血糖濃度とインスリンのグラフから、生命を維持する仕組みについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 脈拍の測定などを通して、自らのからだ恒常性に基づいて生命活動をしていることを意識してまとめることができる。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1

3 学 期	D 植生の多様性と分布 【知識及び技能】 地球上では様々な植生がみられ、それらは移り変わっていくことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球上でみられるバイオームの特徴を、気温と降水量に基づきまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの住む地域でみられる植生・バイオームについて高い関心をもつ。	・様々な地域で、それぞれ環境に適応した植物が集まって生育しており、それらが外観上の様相から分類されることを理解させる。 ・バイオームは気温と降水量に対応して分布していることを理解させ、それぞれがもつ特徴についてまとめて表現させる。 ・日本におけるバイオームの分布は、主に緯度と標高に対応していることを理解し、自らの住む地域のバイオームについて高い関心をもたせる。	【知識・技能】 地球上の多様な環境に対応して様々な植生が存在し、それらが移り変わっていくことを正しく理解し、問に答えることができる。 【思考・判断・表現】 各バイオームの特徴と気温・降水量との関係性を分かりやすくまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本のバイオームにみられる特徴を理解し、自らの住む地域のバイオームを意識して特徴をまとめることができる。	○	○	○	9
	E 生態系とその保全 【知識及び技能】 生態系がどのように成り立っているかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生態系のバランスを表すグラフを読み取り、考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らも「ヒト」という生物として、生態系においてどのように他の生物と共存していくかを主体的に考え、意見交換することで多角的な視点を養う。	・生物とそれらを取り巻く環境をまとめたものを生態系ということを理解させる。 ・生態系のバランスを表すグラフを読み取り、バランスを保つしくみについて考察させる。 ・生態系内は常に変動しているが、その幅が一定の範囲内で収まる場合はバランスが保たれ、それ以上に大きく変動する場合は元の状態に戻らなくなることを理解し、「ヒト」としてどのように関わっていくべきかについて高い関心をもたせる。	【知識・技能】 生態系がどのように成り立っているかを、生物の役割を含めて正しく理解し、問に答えることができる。 【思考・判断・表現】 生態系のバランスを表すグラフを読み取り、バランスを維持する仕組みを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが生態系の一部である「ヒト」として、他の生物と共存していく方法を主体的に考え、他の生徒との意見交換によって多角的な視点を持つことができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

神代 高等学校 今年度（1 学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科 理科 科目 化学基礎

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 化学基礎 (東京書籍) ）

教科 理科 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な探究のための観察・実験に関する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】科学的に探究する力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】科学的に探究する態度を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	物質の成分と構成元素 ①化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ②物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	物質の成分 物質の構成元素 物質の三態	化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	原子の構造と元素の周期表 ①物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ②原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	原子の構造 電子配置 元素の周期表	物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	化学結合 ①物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ②物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合 化学結合と物質の分類	物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2 学 期	物質質量と化学反応式 ①物質質量，化学反応式のことを理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ②物質質量，化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応の表し方 化学反応式の表す量的関係	物質質量と化学反応式についての実験などを通して，物質質量，化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 物質質量，化学反応式について，問題を見だし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 物質質量，化学反応式について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	酸と塩基 ①酸・塩基と中和のことを理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ②酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩の生成 中和反応	化学反応についての実験などを通して，酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 酸・塩基と中和について，問題を見だし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 酸・塩基と中和について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	酸化還元反応 ①酸化と還元のことを理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ②酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の応用	化学反応についての実験などを通して，酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 酸化と還元について，問題を見だし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 酸化と還元について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

保健体育 科目 体育

单位数： 单位

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

【知識及び技能】生涯に通じた健康の保持増進・豊かなスポーツライフをどうすれば実現できるかを考え、理解する。

【思考力、判断力、表現力等】自らの健康やスポーツに関する課題を発見し、その課題解決を図る主体的かつ協働的な学習を進める。

【学びに向かう力、人間性等】目覚ましく変化する社会の中で、心と体を一体と捉え、生涯を通じて健康の保持増進・豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目には、様々なルールがあることを理解し、実践する。 各種目の動きの特性を理解し、正しい動きを実践する。	自己の課題を把握する。自己の課題解決のために目標を立てる。 課題改善に向けて反省と振り返りをする。	自主的に種目に取り組む。 自己の目標を見出し、目標達成に向けて挑戦する。 目標を達成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体づくり運動Ⅰ B サッカー 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	オリエンテーション A 50M、100M走 ストレッチ、リズム体操 筋肉・調整力を高める運動 B インサイドキック インステップキック ドリブル ミニゲーム・ゲーム	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	C スポーツテスト D 体育祭練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	C スポーツテスト D 全員リレー 二人三脚	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	D 体育祭練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	D 各種選択種目	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	E 水泳 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	E クロール キック・ストローク コンビネーション タイムトライ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学期	E 水泳 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	E 背泳ぎ キック・ストローク コンビネーション タイムトライ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。		1		1
	F バスケットボール G バレーボール 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	F 各バス、ドリブル レイアップシュート 1対1、3対3 ミニゲーム・ゲーム G オーバーパス アンダーパス サーブ・アタック ミニゲーム・ゲーム	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				
	H テニス I 器械運動 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	H フォア・バック ロブ・ボレー・スマッシュ サーブ・サーブレシーブ ミニゲーム シングルス I 前後転、開脚前後転 伸膝前後転、側転	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				
3 学期	J 持久走 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】	J 2K走 3K走 4K走 タイム走	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				
	K 球技大会練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する	K テニス バレーボール ドッジボール サッカー バスケットボール など	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				
							合計 31

保健体育 科目 体育

單位數： 單位

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 目覚ましく変化する社会の中で、心と体を一体と捉え、生涯を通じて健康の保持増進・豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体づくり運動Ⅰ B バスケットボール 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	オリエンテーション A 50M、100M走 ストレッチ、リズム体操 筋肉・調整力を高める運動 B 各バス、ドリブル レイアップシュート 1対1、3対3 ミニゲーム・ゲーム	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	5
	C スポーツテスト D 体育祭練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	C スポーツテスト D 全員リレー 二人三脚	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	D 体育祭練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	D 各種選択種目	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	E 水泳 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	E クロール キック・ストローク コンビネーション タイムトライ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学期	E 水泳 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	E 背泳ぎ キック・ストローク コンビネーション タイムトライ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。		1		1
	F テニス G 器械運動 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	F フォア・バック ロブ・ボレー・スマッシュ サーブ・サブレシーブ ミニゲーム シングルス G 前後転、開脚前後転 伸膝前後転、側転	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				
	H ソフトボール I バレーボール 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を見出し、目標達成を目指す	H キャッチボール T バッティング バッティング 捕球・ゲーム I オーバーパス アンダーパス サーブ・アタック ミニゲーム・ゲーム	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				
3 学期	J 持久走 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する 【主体的に学習に取り組む態度】	J 2K走 3K走 4K走 タイム走	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				
	K 球技大会練習 【知識・技能】 ルール・動きの特性を理解する 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、解決する	K テニス バレーボール ドッジボール サッカー バスケットボール など	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の観点から、スキルテストや提出物、出席、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。				
							合計 31

【 知 識 及 び 技 能 】 生涯に通じた健康の保持増進・豊かなスポーツライフをどうすれば実現できるかを考え、理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 自らの健康やスポーツに関する課題を発見し、その課題解決を図る主体的かつ協働的な学習を進める。

【学びに向かう力、人間性等】 目覚ましく変化する社会の中で、心と体を一体と捉え、生涯を通じて健康の保持増進・豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の健康について理解する。 各単元内容を理解し、その課題について考える。 課題について考え、その解決方法を考える。	各単元の内容を理解し、自分の意見を取り入れて発言できる。 各単元の内容に対し、課題を追求し、課題解決法をまとめたり話し合ったりできる。	グループワークなどで、他者の意見を傾聴し、比較しながら自分の意見を述べるができる。 課題に対し、自ら調べながら取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A健康の考え方と成り立ち B私たちの健康のすがた 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	A 健康指標や疾病の構造から日本の健康課題を理解する。健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることを理解する。 B 健康の考え方がどのように変化してきたのかを理解する。健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	3
	C生活習慣病の予防と回復 Dがんの原因と予防、治療と回復 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	C 生活習慣病を軽減するため必要な個人の取り組みについて理解する。生活習慣予防や回復に必要な社会の取り組みについて理解する。 D がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解する。 がんの予防や回復のために必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	2
	定期考査						
	E運動と健康、食事と健康 F休養と睡眠と健康 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	E 身体活動・運動と健康の関係について理解する。食事と健康の関係について理解する。 F 休養・睡眠と健康の関係について理解する	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	2
	G喫煙と健康 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	G 喫煙による健康環境への影響について理解する。喫煙の健康被害の防止には必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
2 学 期	H飲酒と健康 I薬物乱用と健康 J精神疾患の特徴 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	H 飲酒による健康環境への影響について理解する。喫煙の健康被害の防止には必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。 I 薬物乱用による健康環境への影響について理解する。薬物乱用の健康被害の防止には必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。 J 精神疾患について理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	2
	K精神疾患の予防 L精神疾患からの回復 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	K 代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。精神疾患の発祥、回復のポイントを理解する。 L 精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	3
	定期考査						
	M現代における感染症の問題 N感染症の予防 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	M 感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。新興感染症や再興感染症の発生や現状とその理由について理解する。 N 感染症の三原則について理解する。感染症を予防するために必要な社会及び個人の取り組みについて理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	3
	O性感染症・エイズとその予防 P健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	O 性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。性感染症・エイズの予防には必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。 P ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。健康を保持増進するための環境について理解する。 健康を保持増進するには適切な意思決定行動選択が重要であることを理解する。様々な要因により影響を受けることを理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
3 学 期	Q事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	Q 交通事故の実態を理解する。人的要因と環境要因があることを理解する。安全な社会を作るための個人的取り組み	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	3
	R応急手当・心肺蘇生 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ワークシート・小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント	R 日常的な応急手当・心肺蘇生の意義や方法、手順について理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計 28

年間授業計画

神代 高等学校 今年度（1 学年用） 教科

芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ

単位数： 2 単 位 2

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ MOUSA① 教育芸術社 ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	・曲想と音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法などの技能を身につけて、他者と協働しながらイメージをもって表現を工夫して演奏する。	【ボディーパーカッション】 ・Plymouth Rock					・リズムを正確に捉え、重なりやつながりを意識して演奏している。（技） ・曲想にあった音色や奏法、パフォーマンスの技能を身につけ、表現の工夫をしている。（思・判・表） ・曲の特徴をいかした表現をグループ内で積極的に意見交換して、音楽活動を主体的、協働的に行っている。（主）				8
	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身につけて、イメージを持って表現を工夫し歌唱する。	【イタリア・カンツォーネ】 ・0 sole mio 【若人の歌】 ・混声四部 無伴奏 【変わらないもの】 ・斉唱 伴奏あり					・曲にふさわしい発声や発音、身体の使い方などに気を付けて歌い、表現に必要な技能を身につけている。（技） ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容、文化的・歴史的背景との関りを理解している。（知） ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かし、自己のイメージを持って表現の創意工夫をしている。（思・判・表） ・歌唱表現の工夫を考え、主体的に活動を行っている。（主）				8
	・楽典基礎	【楽譜の書き方について】 ・音部記号、拍子記号、調号、音符の書き方等を学び、正しく楽譜を書く					・歌唱活動や器楽活動で使用する楽譜の書き方を学習し、決まり事を理解して正しく楽譜を書くことができる（技） ・音符の種類を理解し、棒の向き、長さ、位置を正しく書くことができる。（表） ・楽譜に関心を持ち、丁寧に楽譜を書く等主体的に学習をしている。（主）				4
2 学 期	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法・技能を身につけてイメージを持って表現を工夫し演奏をする。	【クラシックギター】 ・第三の男のテーマ ギター1（メロディー） ギター2（和音伴奏）					・ギターの音色や響きと奏法の関わりを理解し、創意工夫を生かしギターの演奏に必要な奏法を身につけて表現している。（知・技） ・ギターの音色、旋律を知覚しどのように演奏がふさわしいか思いや意図を持っている（思・判・表） ・ギターの音色や特徴に関心を持ち、音楽活動を主体的・協働的に取り組んでいる（主）				20
	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身につけてイメージをもって表現を工夫し歌唱する。	【ドイツ歌曲】 ・ich liebe dich					・曲にふさわしい発声や発音、身体の使い方などに気を付けて歌い、表現に必要な技能を身につけている。（技） ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容、文化的・歴史的背景との関りを理解している。（知） ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かし、自己のイメージを持って表現の創意工夫をしている。（思・判・表） ・歌唱表現の工夫を考え、主体的に活動を行っている。（主）				12
3 学 期	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法・技能を身につけてイメージを持って表現を工夫し演奏をする。	【クラシック・フォークギター】 ・日曜日よりの使者					・奏法の関わりを理解し、創意工夫を生かしギターの演奏に必要な奏法を身につけて表現している。（知・技） ・ギターの音色、旋律を知覚しどのように演奏がふさわしいか思いや意図を持っている（思・判・表） ・ギターの音色や特徴に関心を持ち、音楽活動を主体的・協働的に取り組んでいる（主）				10
	・沖縄の伝統芸能や沖縄三線に親しみ、沖縄の音階を使用したメロディー創作をしよう。	【創作・発表活動】 ・「さまざまな音階」を理解し、沖縄の音階を使用した4小節のメロディーをつくらう					・長音階、短音階、5音音階を学習し、それらの構成音を使用したメロディー創作ができる（技） ・構成音を正しく選び、反復や変化などの手法を用いながら工夫して、楽譜に書くことができ、演奏ができる。（技） ・自分の表現したい音楽をどのように創作するか意図を持ち、創作している。（思・判・表） ・まとまりのある音楽を創作することに関心を持ち、主体的に活動をしている。（主）				4

藝術 科目 美術 I

单位数： 2 单位

教科 芸術

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]

芸術 科目 書道 I

單位數： 2 單位

教科 芸術 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】

科目 書道Ⅰ の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価標準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	オリエンテーション 書へのいざない 鑑賞へのいざない 書道用具の確認。	用具の配置及び手入れの仕方 基本点画の学習	○		○	書についての関心度が深まったか。 用具を準備し、使用後手入れができたか。 漢字の書体について理解できたか。	○	○	○	6	
	楷書体の学習 有名古典を通じ、 歴史や文化的側面と書表現との連 絡について学ぶ。礼教書として発 達した古代漢字書道が、現代人の 心をも打ち続ける事について考え る。これが毛筆の発達と不即不離 の関係にあることを体験する（以 下全項目についてこの指針に倣	孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘		○	○	作品名や作者・時代を覚えたか。 毛筆表現にどんな工夫をしたか。 書体の特徴が理解できたか。	○	○	○	6	
	楷書体 生活の中の書	雁塔聖教序 顔氏家廟碑 暑中見舞いについて調べる。	○	○	○	毛筆の扱いを工夫したか。楷書体の正確な表 現ができたか。 唐の四大家の代表作品を通して、それぞれの 特徴が理解できたか。	○	○	○	8	
	生活の中の書	暑中見舞いはがきを書いて出す。 はがきの書き方を学ぶ。	○		○	毛筆表現を生活の中で生かすことができた か。	○	○	○	8	
2 学 期	行書体の学習	蘭亭序 半紙に書く		○	○	作品名や作者・時代を覚えたか。柔らかい流 れのある運筆ができたか。毛筆表現にどんな 工夫をしたか。	○	○	○	6	
	行書体の学習	蘭亭序 風信帖 半紙及び半切に書く		○	○	毛筆の扱いを工夫したか。行書体の特徴を掴 むことができたか。	○	○	○	8	
	篆書および隸書 生活の中の書	年賀状について調べる	○	○	○	現在みられる最古の漢字について理解でき たか。篆書から隸書への流れについて知るこ とができたか。 日本の風習である年賀状や寒中見舞いにつ いて理解できたか。	○	○	○	8	
	生活の中の書	年賀状を書いて出す。	○		○	毛筆表現を生活の中で生かすことができた か。	○	○	○	8	
3 学 期	仮名の学習	仮名単体および連綿の学習			○ ○	平仮名48文字を書く 仮名の基本用筆が習得できたか。 仮名の歴史、日本文化上の意義が理解できた か。	○	○	○	6	
	仮名の学習	高野切、蓬萊切の臨書及び鑑賞 料紙に書く			○ ○	仮名の書の特徴である直線と曲線の組み合 わせを理解し、それぞれの古筆のリズムを掴 むことができたか。 古筆を鑑賞することにより、筆者の個性や 美意識を感じることができたか。	○	○	○	6 合 計	

外国語 **科目** 英語コミュニケーションⅠ

单位数： 3 单位

使用教科書： (LANDMARK English Communication I

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを読んだり聞いたり話したり書いたりしようとしている。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を読んだり聞いたりして、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み、聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを読んだり聞いたりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	話 【 発 】	書					
1 学 期	LANDMARK Lesson 2 Curry Travels around the World	・指導事項 現在完了形・分詞を含んだ文章 リプロダクション ・教材 教科書・プリント	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 現在完了形・分詞を含んだ文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を選び出し書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報をまとめ、適切に書いて表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	LANDMARK Lesson 4 Eco-Tour in Yakushima	・指導事項 受動態・関係詞を含んだ文章 リプロダクション ・教材 教科書・プリント	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 受動態・関係詞を含んだ文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を選び出し書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報をまとめ、適切に書いて表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
2 学 期	LANDMARK Lesson 5 Baily the Facility Dog	・指導事項 現在完了形・分詞を含んだ文章 リプロダクション ・教材 教科書・プリント	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 現在完了形・分詞を含んだ文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を選び出し書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報をまとめ、適切に書いて表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	LANDMARK Lesson 6 Communication without Words	・指導事項 関係代名詞・関係副詞を含んだ文章 リプロダクション ・教材 教科書・プリント	○	○	○	○	○	【知識及び技能】関係詞を含んだ文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を選び出し書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報をまとめ、適切に書いて表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
3 学 期	LANDMARK Lesson8 The Best Education to Everyone, Everywhere	・指導事項 部分否定、知覚動詞等を含んだ文章 リプロダクション ・教材 教科書・プリント	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 部分否定、知覚動詞等を含んだ文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を選び出し書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報をまとめ、適切に書いて表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	10 合 計 54

年間授業計画

神代 高等学校 今年度（1 学年用）教科

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現 I

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ Vision Quest standard ） （8組：増子）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語【思考力、判断力、表現力等】で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

外国語の背景にある文に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	言	読	書					
1 学 期	Vision Quest Lesson 1 紹介 Lesson 2 学校生活	・指導事項 文の種類・文型 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末					○ ○ ○	【知識及び技能】 文の種類・文型・時制が理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	7
	作文課題 「休日にしたことについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム					○	【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	1
	定期考査						○		○	○		1
	Vision Quest Lesson 3 旅行・観光 Lesson 4 趣味・関心	・指導事項 時制・完了形 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末					○ ○ ○	【知識及び技能】 完了形・助動詞を理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	8
	作文課題 「何かを初めて経験した時のことについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム					○	【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	1
	定期考査						○		○	○		1

2 学 期	Interview Test 1学期の作文課題から1つについて ALTが質問し応答する	・指導事項 発音・応答 ・教材 プリント				○	【知識及び技能】 自分についての情報をやりとりすることができる 【思考力、判断力、表現力等】 聞き手を意識して要点を伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	3	
	Vision Quest Lesson 5 将来・進路 Lesson 6 受動態	・指導事項 完了形・助動詞 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末			○	○	【知識及び技能】 完了形・助動詞を理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	9	
	作文課題 「お薦めの小説について」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム				○	【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	1	
	定期考査					○		○	○		1	
	Vision Quest Lesson 7 交流・交際 Lesson 8 スポーツ・健康	・指導事項 助動詞・動名詞 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末			○	○	○	【知識及び技能】 助動詞・動名詞を理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	10
3 学 期	作文課題 「日常生活でしないようにきをつけていることについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム				○	【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	1	
	定期考査					○		○	○		1	
	Interview Test 1・2学期の作文課題から1つについてALTが質問し、やり取りする	・指導事項 発音・応答 ・教材 教科書・プリント				○	【知識及び技能】 自分についての情報をやりとりすることができる 【思考力、判断力、表現力等】 聞き手を意識して要点を伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	3	
	Vision Quest Lesson 9 メディア・コミュニケーション Lesson 10 文化・異文化理解	・指導事項 分詞・関係詞 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末			○	○	○	【知識及び技能】 分詞・関係詞を理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	9
	作文課題 「いま必要なものについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム				○	【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	2	
	定期考査					○		○	○		1	
											合 計	
											60	

年間授業計画 様式例

神代 高等学校 今年度（１学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報 科 目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： （ 情報Ⅰ 図解と実習（情Ⅰ711・712） ）

教科 情報 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 効果的なコミュニケーションの実現。コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現。コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・情報とデータの違いについて理解する ・情報の特性について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の特性を観点に分けて思考できる ・具体的な特性と理由を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報の特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる。	・指導事項 情報の特性を考えよう ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 情報とデータの違いを調べる	【知識・技能】 ・情報とデータの違いについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報の特性を観点に分けて考えることができる。 ・具体的な特性を理由とともに説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている	○	○	○	4
	B 単元 【知識及び技能】 ・情報社会における著作権侵害について理解している。 ・情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。 ・情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 ・情報モラルに配慮し情報社会に主体的に参画しようとしている。	・指導事項 著作権について考えよう ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 著作権を調べる	【知識・技能】 ・情報社会における著作権侵害について理解している。 ・情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。 ・情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 ・情報モラルに配慮し情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 ・メディアの3つの特性とそれぞれのメリット・デメリットについて理解している。 ・メディアが人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や状況に応じて、適切なメディアを選択することができる。 ・理由とともにメディアの捉え方を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・メディアの特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	・指導事項 メディアの特性を考えてみよう ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 メディアのメリット・デメリットを調べる	【知識・技能】 ・メディアの3つの特性とそれぞれのメリット・デメリットについて理解している。 ・メディアが人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、適切なメディアを選択することができる。 ・理由とともにメディアの捉え方を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアの特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	○	○	○	6

2 学 期	D 単元 【知識及び技能】 ・アナログとデジタルの違いについて理解している。 ・2進法・10進法・16進法の相互変換について理解している。 ・情報量と大きさについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アナログとデジタルの利点と欠点について考えることができる。 ・情報量で何通りの情報が表現できるか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アナログとデジタルのデータを扱う身近なものを積極的に探し、理解を深めようとしている。	・指導事項 コンピュータとデジタルデータ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 それぞれの進法が日常生活のどのような場面で活用されているか調べる。	【知識・技能】 ・アナログとデジタルの違いについて理解している。 ・2進法・10進法・16進法の相互変換について理解している。 ・情報量の単位と大きさについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・アナログとデジタルの利点と欠点について考えることができる。 ・情報量で表現できる情報が何通りか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アナログとデジタルのデータを扱う身近なものを積極的に探し、理解を深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	E 単元 【知識及び技能】 ・コミュニケーションの手段の発達について理解している。 ・メディアの発達により生じる課題の原因を理解している。 ・メディア・リテラシーの必要性について理解している。 ・情報の特性について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・メディアが発達したことにより、便利になったことと課題について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・メディアの種類を振り返り、自らの学習を調整しようとしている。 ・メディアが発達したことにより生じた課題について、主体的に考えようとしている。	・指導事項 コミュニケーションとメディアの活用 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 メディアについてを調べる	【知識・技能】 ・コミュニケーションの手段の発達について理解している。 ・メディアの発達により生じる課題の原因を理解している。 ・メディア・リテラシーの必要性について理解している。 ・情報の特性について理解する 【思考・判断・表現】 ・メディアが発達したことにより、便利になったことと課題について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアの種類を振り返り、自らの学習を調整しようとしている。 ・メディアが発達したことにより生じた課題について、主体的に考えようとしている。	○	○	○	6
	F 単元 【知識及び技能】 ・アルゴリズムの3つの要素（順次、分岐、反復）について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アルゴリズムからフローチャートで図式化し説明することができる。 ・フローチャートからプログラムを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題解決の中でプログラミングの有用性の理解し、課題解決に取り組もうとしている。	・指導事項 アルゴリズムとプログラム ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 順次構造、分岐構造、反復構造がどのような場面でプログラムされているか調べる。	【知識・技能】 ・アルゴリズムの3つの要素（順次、分岐、反復）の違いについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・アルゴリズムからフローチャートに図式化し説明することができる。 ・フローチャートからプログラムを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題解決の中でプログラミングの有用性の理解し、課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	G 単元 【知識及び技能】 ・情報デザインの意味について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アートと情報デザインの違いを考えることができる。 ・情報デザインの考えをもとに、伝えたい情報を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている。	・指導事項 情報デザイン ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 情報デザインを調べる	【知識・技能】 ・情報デザインの意味について理解している。 【思考・判断・表現】 ・アートと情報デザインの違いを考えることができる。 ・情報デザインの考えをもとに、伝えたい情報を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	H 単元 【知識及び技能】 ・コンピュータの構成要素やデータの制御、データの流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れを表現し、説明することができる。 ・ハードウェアの3つの要素がどのような働きをするか説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動や、インタフェースを確認する活動に積極的に取り組もうとしている。	・指導事項 コンピュータのしくみ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 コンピュータの基本的構成を調べる	【知識・技能】 ・コンピュータの構成要素やデータの制御、データの流れを理解している。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れを表現し、説明することができる。 ・ハードウェアの3つの要素がどのような働きをするか説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動や、インタフェースを確認する活動に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

3 学 期	I 単元 【知識及び技能】 ・機器どうしを情報通信ネットワークで接続するしくみを理解している。 ・情報通信ネットワークを構成する要素とその役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける構成要素を選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報通信ネットワークに興味を持ち、主体的に活用しようとしている。	・指導事項 情報通信ネットワークのしくみ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 データ伝送のしくみを調べる	【知識・技能】 ・機器どうしを情報通信ネットワークで接続するしくみを理解している。 ・情報通信ネットワークを構成する要素とその役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける構成要素を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報通信ネットワークに興味を持ち、主体的に活用しようとしている。	○	○	○	5
	J 単元 【知識及び技能】 ・データ分析の手順について理解している。 ・データの収集についてさまざまな方法があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データ収集方法によるメリット、デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。 ・データ分析に必要なオープンデータをインターネットから取得し、データ分析が行いやすいようデータの整理ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	・指導事項 データの活用 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 数値データやテキストデータの分析方法を調べる	【知識・技能】 ・データ分析の手順について理解している。 ・データの収集についてさまざまな方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・データ収集方法によるメリット、デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。 ・データ分析に必要なオープンデータをインターネットから取得し、データ分析が行いやすいようデータの整理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・より強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	○	○	○	4
	K 単元 【知識及び技能】 ・問題を発見する技能を身につけている。 ・問題解決の一連の流れにおいて、それぞれの過程で必要になることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や状況に応じて、問題を発見・解決する方法について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題の発見・解決について主体的に取り組もうとしている。 ・解決する過程や解決案を改善しようとしている。	・指導事項 問題解決の考え方を身につけよう ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 問題解決を整理する	【知識・技能】 ・問題を発見する技能を身につけている。 ・問題解決の一連の流れにおいて、それぞれの過程で必要になることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、問題を発見・解決する方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題の発見・解決について主体的に取り組もうとしている。 ・解決する過程や解決案を改善しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1 合計
							73

神代 高等学校 今年度（１学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科： 人間と社会 科目： 人間と社会

単位数： １ 単位

対象学年組： 第 １ 学年 １ 組～ ８ 組

使用教科書：（ 人間と社会（東京都教育委員会著標準教科書） ）

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】主体的な自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】考察したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う

【学びに向かう力、人間性等】社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的な自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける	考察したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う	社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	事前学習活動 ・「人間と社会」の学習のねらいと授業の進め方についての説明	総合的な探究の時間事前指導 オリエンテーション 人間と社会について	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	1
	教科書単元「役割と責任を考える」 ・導入（説明） ・探究活動を通じて単元の内容に関する自分の基本的考え方をまとめる。（ペアワーク・グループ活動） ・意見の異なる生徒同士の話し合いから、自己の価値観を高める。（ペアワーク・グループ活動） ・諸場面を想定し、探究活動を通じて選択・行動に関する能力の育成を図り、これからの自分の生き方を考える。（ペアワーク・グループ活動） 事前学習活動①・体験活動分野別希望調査の実施・体験活動内容の決定	支え合う社会に関する学習	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	3
	定期考査						
	事前学習指導② ・活動直前の心構え、意識の高揚 ・活動報告書の書き方指導 活動別体験学習①および② （▲により合計１５時間になるように体験活動を実施する）	役割と責任を考えるに関する学習 体験活動に関する指導 活動先等との打ち合わせ	体験活動報告書等の課題により評価する。	○	○	○	2
	体験活動① 高齢者関係・障害者関係・幼児関係・児童関係・福祉関係・病院等 体験活動② 環境保全関係・地域関係等 定期考査	体験活動① 体験活動②	体験活動報告書等の課題により評価する。	○	○	○	12
2 学 期	体験活動の事後指導① ・活動報告書の作成 ・活動先へのお礼状の作成 体験活動の事後指導② ・体験活動自己評価を行う。 ・体験活動をまとめた感想文の作成	活動状況の把握 体験活動感想文の作成	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	3
	教科書単元「マナーと社会のルールについて考える」 ・導入（説明） ・探究活動を通じて単元の内容に関する自分の基本的考え方をまとめる。（ペアワーク・グループ活動）	マナーとルールに関する学習	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	3
	・意見の異なる生徒同士の話し合いから、自己の価値観を高める。（ペアワーク・グループ活動） ・諸場面を想定し、探究活動を通じて選択・行動に関する能力の育成を図り、これからの自分の生き方を考える。（ペアワーク・グループ活動）	マナーとルールに関する学習	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	3
3 学 期	教科書単元「ネット時代」 ・導入（説明） ・探究活動を通じて単元の内容に関する自分の基本的考え方をまとめる。（ペアワーク・グループ活動） ・意見の異なる生徒同士の話し合いから、自己の価値観を高める。（ペアワーク・グループ活動） ・諸場面を想定し、選択・行動に関する能力の育成を図り、これからの自分の生き方を考える。（ペアワーク・グループ活動）	ネット時代の利用に関する学習	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	4
							合計
				○	○	○	31